

2021年2月

No. 38

書道教室 薬院 一凜  
sho-do ICHIRIN

繼續は力なり



月刊  
一凜



夢は美一ヨガヨ、  
希望は高キガヨ、  
夢も希望も捨てなければ  
必ず近づくべし

刻マゲヨ



月刊一凜 No.38 (2021年2月)

《競書審査員》佐々木峯雲 《発行》書道教室 一凜 薬院 《制作》野口昌芳(NS)



書道教室 薬院 一凜  
sho-do ICHIRIN

〒810-0022 福岡市中央区薬院3-7-25 原ビル2F  
TEL / 092-791-7251 FAX / 092-791-7786  
<http://www.shodo-ichirin.com/>

# 墨を擦る

文=岡田 雄希

今まで新聞社に勤め思ひ知つたことがある。14年まで新聞社に勤め思ひ知つたことがある。14

0年以上前に新媒体としてスタートした新聞は、少なくとも日本では私が会社に入る直前までメディアの王のような存在だった。それがいつの間にか新媒体ウェブの発達により急速に読者が減り、玉座から滑り落ちた。実際に住宅地にある資源ゴミの回収ボックスを覗くと、私はいつも新聞を取り巻く現実を思い知る。新聞はほとんど捨てられている。逆に段ボールは巨大なコンテナボックスからあふれるように捨ててある。

多くの段ボールには「Amazon」のロゴが印刷してある。

そのAmazonが提供する電子書籍サイトのKindleで本を購入するようになった。さらにAmazonの電子書籍を読むための端末(リーダー)ペーパーホワイトも

ウエブの新年初売りセールで買った。購入した電子書籍はパソコンやスマホにも同期でき、いつでもどこでも本を読むことができる。本当は、本を読むよりユーチューブなどの動画サイトをのぞいている方が性に合っているのだが、依頼が増えているコラムを書くためのネタ探しにどうしても本を

読む必要性にも迫られている現実もあった。

紙の本は文庫本や新書を含め何冊かをカバンに入れると結構な重さになる。朝、出社準備をしている時に本棚から何冊かを選んでカバンに入ってきた。短い時間でも、読む時間が取れれば読もうと考えて「あれも、これも」と思案しているうちに結構な分量になることもあった。そんな朝の儀式もKindleの端末を買ってからしなくなり、カバンは急に軽くなつた。

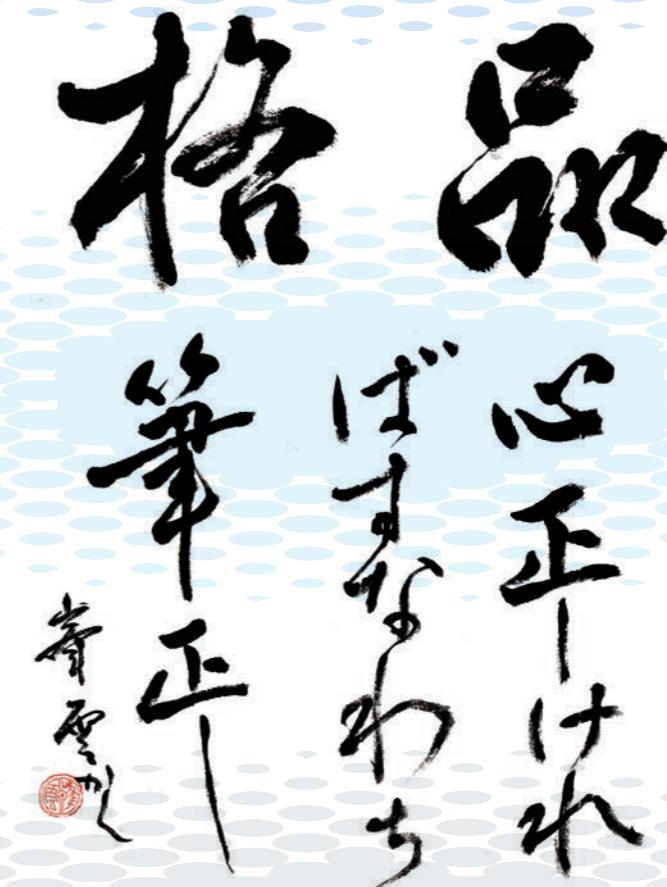
## K i n d l e

Kindleペーパーホワイトを購入前に会社や身の回りでリサーチもしてみた。すると「Kindleのアプリはスマホに入れているけど、リーダーまではねえ」とか「私は電子書籍はまだまだ。やっぱり紙に印刷された本を読むのが一番いい」と、予想以上にアレルギーに近い反応が多かつた。

読書家の一凜・佐々木先生にも見せたが「へえー」で終わり、代わりにずつしりとした本(上下巻)を貸してくれた。

紙媒体で長年、禄をはんできたのに電子媒体の便利さを謳歌している私に本の重みが「裏切り者」と小声でささやいていきがしてならない。

## 【四季と書と】



日本書道協会「名言名句辞典」より二部抜粹

書の指導を志す際、「お前は短気な性格だから、常に穏やかな心を持つ人間になることが肝要だ」と父から言われたことがあります。右掲の文面を読むにつけ、練筆と鍊心に一層励まなければ感じた次第です。

佐々木 奎雲

書は心の現れだと思います。技を究めようとするのは本筋ではないということです。

書ばかりでなく、あらゆる道に通じる、いわば「道のこころ」というべきでしようか。

明治の書家・中林梧竹(明治の三筆の一人)は、「点画のたぐみは練筆より生じ、風品の高きは鍊心より生ず」と言っています。「技術ではなくて人間の心なんだ。書の品格は人間の品格さ」と。

唐の書家・柳公權(楷書の四大家の一人)に、穆宗(唐朝第15代皇帝)が尋ねました。

「書の上達の法はどんなところにあるのでしょうか」と。公權が答えました。「心正しければ、すなわち筆正し。すなわち筆正しければ、すなわち法とすべし」と。

「別に法則なんてないのさ。心正しければその人の書は正しいのだよ。だから、正しい書を書くその人を見習えばよいのだ」。

書は心の現われ



《EとA&枚と牧》

ファミリーマートとサッポロビールとで共同開発した「サッポロ 開拓使麦酒仕立て」。

エンジ色のパッケージに記された「ラガー」のスペルが「LAGER」ではなく「LAGAR」と誤っていたことが発覚し、1月8日に発売中止の発表があったことを新聞等で知りました。

しかし、SNSなどで消費者からの販売を望む声などがあったとして、中止の決定を撤回し2月2日に発売されることになりました。異例の決断だそうです。

田中将大の甲子園での活躍で有名になった駒大苦小牧高校。なぜ「とまこまい」じゃなくて「とまこまい」と読むようになったのでしょうか。不思議だと思いませんか。

1874年(明治7年)に字名を「苦細」から「苦小牧」に改めました。一般に「牧」は「まい」とは読まないので「苦小枚」とすべきところですが、開拓使東京出張所庶務課の小牧昌業さんが「細」を「小枚」と修正する際に誤って、書き慣れている自分の名字の「小牧」を記入。以後、訂正することもなく、「牧」を「枚」と読む無理矢理な地名が生まれたそうです。「太刀洗町」ではなく「大刀洗町」になったのも似たような理由からだそうです。一旦決定したことは頑として譲らない。なんと融通の利かないことか。

融通が利かないお役所仕事と違い、民間企業の柔軟で人間的な対応で販売されることになった「サッポロ 開拓使麦酒仕立て」のLAGARビール。是非、一度飲んでみたいものです。

書道教室 一凜 薬院  
佐々木峯雲



COVER ART  
Miki Furukawa

## 3月分課題

3月分課題は昇段・昇級審査対象課題となります。

提出期限予定日は3月10日(水)です。

日頃の練習の成果を十分に發揮し、昇格を目指して頑張りましょう。

硬筆

かな

漢字

日本列島には四季それの名所が多い。夕陽西下に入れた海辺を焦がすように走り沈んでいく冬の夕日も心にかかる。

いまにして君のまますらん此の頃の雪げの風の日々に寒きに

田子の浦にうち出でてみれば白妙の富士の高嶺に雪は降りつつ

初段以上

10級～1級

バナちゃん節で有名な口上付きのバナのたたき売りとされる。バナは日本人の食文化の一端も映して今に至る。

10級～1級

- 配布された手本に間違えがないか、上記課題一覧を必ず確認してください。

受験料 六段まで…1課題 500円／準師範以上…1課題 800円

※選択受験をする方は申請書の提出が必要となります。

※令和2年10月の昇段・昇級試験後から令和3年2月までの4ヶ月の間で、課題の未提出が1回以上ある方は受験不可となり、課題提出のみの扱いとなります。

### ●硬筆の添削に関して

初段以上の方の添削は毎月1回限りとします。

十分練習を重ねて仕上げた作品を添削依頼してください。

Date 2021 February No. 4

「趣味」を模索していた10年以上前のこと。

子どもの頃に弟達と習っていた習字は結構楽しかったなあと思ひ出し、体験から始めた書道教室一凜。教室は自宅からは近くないし、正直続けられるのか疑問でしたが、気付けば早10年。

最初は書くことがただ楽しかったのですが…ハードな仕事との両立がキツイと感じたりモチベーションが上がらないとか、提出日までに納得出来る作品が書けない等、何度か放棄したい気分になった事もあります。でも、私の中でいつしか書道はアイデンティティの一つになっていました。

墨と筆と気が一体になって紙に描かれる文字は、「個性」と「集中力」の結晶のように感じます。書で表現する芸術を、唯一無二の作品として形に残せる事はとても素敵なことだと思います。

昨年秋に福岡市美術館で開催された、一凜10周年記念イベント「一凜の会 書道展」は、自身の10周年にも重なる記念の1ページとなりました。皆さんの素晴らしい力作と感性を拝見できて感動しきりの貴重な時間でした。佐々木先生と野口さんに心から感謝しております。次回は何年後になるか分かりませんが次も楽しみにしています。

これからも、自分の未熟さにもがきながらそして楽しみながら書道に向き合っていきたいと思います。



多くの方に支えられ、書道教室一凜は創立10年を迎えた。この節目に際し、生徒さんに書道への思いや教室へのメッセージをいただきました。

私

と

一

凜

。

④

月曜日 Bクラス 鷺頭 さおり(櫻鈴)

